



い
の
り
は
か
ら
の
り
に
繪
入

特別
~13
4150
4



4150
+

傾城國土産第四

芝居之部

目錄

一 野良出所

付リ 女方氣方の始リ

二 籠者方お祈

三 乃外之お祈

四 立役者之お祈

又 小歌之お處

下ヤキ

56-4120



六 三味線のお水

七 浄瑠璃のお茶 付り ちまお水

八 税強くお所

九 人形座のお水

十 物舞のお水

十一 物舞のお水

野良出まゝ 女の方の氣を始
 いあへに辻放り下れどく芝の上へしてねえと云
 ころいへよと小芝居と名付とも物舞妓ハハハ
 乃中より送よして小舟又ハ踊らんと云つて
 舞人散之味線ホハありせとなくこおせり。こまじ
 ーくふといひー女お舞よとて物舞妓と云つ
 けて舞をいへり。世よ是と。りてあまひ
 ぬ。さよより江戸よ。若他物といふる。名卷の役
 共お水ぬ大坂も。傳ぬ。ぬと云。いほららるる。こ
 ろして。名をきつといふ。役者おたり。来よん。ハハハ。お水
 いひー。ものおと。美人帽子といふ物と。こまじ
 是と被と。いへり。めて。女の姿お水たり。是女方

の元孫とや。そまより。末よかひて。ちと涼なること
いひしもの。女れあとしして。海なるり。とこ
る。世。舞。く。め。一。り。世。奉。て。是。と。ま。か
びぬ。系。より。指。さ。ゆ。き。女。乃。系。より。さ。あ。い。せ。け
ふ。より。系。より。指。さ。と。ま。づ。け。一。り。も。
は。ま。び。も。や。あ。ら。ま。と。い。の。中。真。女。
れ。人。ら。り。あ。つ。の。小。平。次。お。つ。いて。あ。な
ひ。ぬ。そ。ま。より。一。して。あ。ら。ま。と。ま。づ。け
て。お。さ。る。に。あ。り。か。り。み。お。と。や。え。ん。
女。も。後。の。心。な。い。ま。し。む。き。よ。い。て。い。
の。と。く。男。よ。く。ま。ま。も。な。い。と。の。作。と。あ

ついまま。二八の花れ。す。こと。お。や。ま。ら。ど。と。い。ま。
利。風。よ。ま。あ。く。あ。あ。あ。あ。ら。せ。一。り。世。の。人
あ。ら。と。い。り。も。は。の。と。や。り。子。森。小。傳。次。千。野
小。ざ。り。一。久。来。ゆ。も。あ。つ。か。し。思。は。は。い。せ
用。山。ら。り。も。な。あ。あ。原。を。律。代。へ。ま。い。の。ら
乃。代。ま。く。も。か。る。女。方。又。ま。ま。一。か。あ。し。し
小人。と。あ。ら。の。律。と。い。り。の。や。を。ま。い。り。好
の。野。え。ま。あ。い。一。か。し。を。い。人。ま。ま。い。ま

鏡若方お不

さ。一。や。と。の。世。里。れ。能。老。よ。公。お。ら。り。あ。ら。は。年
う。け。て。の。ら。お。ほ。く。い。ひ。役。と。は。と。ひ。ら。ゆ。い。よ。あ
ハ。若。り。か。あ。し。と。も。男。の。一。て。又。生。男。の。と



小波のあは

小多と名付て。ひあそぶ。中真れり。なり。
 ひろし。げいせい。白拍子。あひり。やう。胡蝶。らんど。
 う。ひり。と。なり。ま。し。この。小多。あり。た。さ。げ。
 小多と名づけ。一。中真。達。と。り。る。さ。
 乳。あ。あ。と。なり。第。う。け。て。ひ。さ。さ。り。り。と。
 よう。う。ま。目。の。見え。ぬ。思。ひ。あ。め。も。さ。さ。さ。さ。け。さ。
 表。ま。れ。公。も。思。ひ。あ。め。の。中。も。と。ん。じ。り。ま。ど。く。
 女。の。信。知。と。り。る。う。さ。げ。よ。さ。さ。さ。あ。あ。と。り。る。は。
 と。て。別。大。和。多。一。射。一。て。小。多。と。名。付。一。
 と。なり。は。ま。達。平。九。と。り。り。第。と。う。さ。ひ。あ。せ。り。
 毛。と。り。ま。れ。小。多。と。り。る。り。破。弁。ハ。久。野。と。り。り。

その上よ。と。さ。さ。さ。人。感。り。り。と。り。り。う。さ。
 兎。の。ゆ。ひ。う。さ。さ。人。人。一。歳。中。の。あ。は。十。五。年。
 いら。う。さ。い。か。さ。ら。ら。上。よ。と。う。や。も。お。の。の。こ。う。た。
 中。よ。と。う。さ。さ。り。り。す。さ。さ。一。と。り。り。あ。は。
 高。の。う。さ。さ。さ。さ。さ。中。真。の。名。人。なり。

小波のあは

根。中。之。線。さ。り。味。ハ。付。ま。琉。球。一。り。と。り。り。め。て。
 我。の。お。の。氏。何。某。一。り。と。り。り。と。り。り。と。り。り。と。り。り。
 ひろまり。ぬ。今。琉。球。と。り。り。と。り。り。と。り。り。と。り。り。
 さ。さ。め。る。ひ。り。り。め。れ。人。一。り。か。り。海。り。と。り。り。
 琉。球。一。り。前。氏。何。某。一。り。と。り。り。と。り。り。と。り。り。
 お。氏。と。り。り。と。り。り。と。り。り。と。り。り。と。り。り。



三波と申す三波のえとんといふなり。その神の御名は
三波と申す三波のえとんといふなり。その神の御名は
三波と申す三波のえとんといふなり。その神の御名は
三波と申す三波のえとんといふなり。その神の御名は
三波と申す三波のえとんといふなり。その神の御名は
三波と申す三波のえとんといふなり。その神の御名は
三波と申す三波のえとんといふなり。その神の御名は

浄海瑠璃之お茶

浄海瑠璃のぐもめひささくは昔月冬河玉ふひとり
此貴女あり。父をみくもの主司伏見の原中納言を
母ハ冬割の宿乃長の娘海色の経をてんりてあ
しうく。二十余年つわやぶるるるるりとうりし
み。さきまをちまをこれ業作し。新世とくけてる中

よるりれま。腹もふへとらうくやどか。懐妊なり。日数
つりりて二人の女子とまうり。是れ業作女身のみぢけ
ふふ子るまびとて。其名浄海。浄海瑠璃のあらと名けぬ。
まろりよ。よるり。十四又乃春なるの及。お茶にまろり
丸よ。別海人志と名けらるり。後ひいありまおと小野
おおごー十二位ようり。りらして。門院經のてんりあ。
節とつけく。よるりとな付。誓女。及れこれひりの
し。あにぬ。後ゆるりえぬ。と申はね。六字もを
ごひものおく。りらめく。人形よ。あやつ
りらと。おづけてり。大坂又文屋。といなる。その大
はかまぬ。しり。文屋。りら。あり。系よ。んた。
いるるる人お茶。世よ。ま。た。く。あ。り。院



するがどの功ある人何節もせよ。あゝさといふ
 我のよきよしあるがとけ。たうとこと。わんて
 我のよきよしあるがとけ。たうとこと。わんて
 我のよきよしあるがとけ。たうとこと。わんて
 我のよきよしあるがとけ。たうとこと。わんて

脱徑之お不

りといふ門せつとありとて。伊勢を食。うらまると
 いひさぬよひと。大坂とせま。いどめてあやつり
 小志さりしより。世よひろまり。りてあそびぬわつ
 ばいて佐たまといふ。のわよて此名を。ぞんは
 ら——小たま。今せつとありの。実ありとて
 此の人。おたれせり。八さま。日し。おま。と世のん
 人形遣之出不

人形遣之出不

人形遣之出不。えへ。愧愧。作とて。おたれ。おま。より

お——事あり。いこで。さる。やうとて。よめ。おたれ。の
 ちね。おま。いん。ば。で。さる。やう。と。ちね。の。く。衣。とい。り。極
 る。お。ち。ね。さ。る。ば。い。ち。ち。ね。お。ま。い。ん。の。よ。き。よ。し。
 こ。お。ま。い。ん。の。よ。き。よ。し。お。ま。い。ん。の。よ。き。よ。し。
 ば。で。さる。やう。と。ちね。の。く。衣。とい。り。極
 の。元。祖。の。内。づ。ら。う。ち。の。長。子。の。ま。ま。の。ま。ま。の。ま。ま。
 ちね。お。ま。い。ん。の。よ。き。よ。し。お。ま。い。ん。の。よ。き。よ。し。
 け。お。ま。い。ん。の。よ。き。よ。し。お。ま。い。ん。の。よ。き。よ。し。
 の。お。ま。い。ん。の。よ。き。よ。し。お。ま。い。ん。の。よ。き。よ。し。
 乃。お。ま。い。ん。の。よ。き。よ。し。お。ま。い。ん。の。よ。き。よ。し。
 八。お。ま。い。ん。の。よ。き。よ。し。お。ま。い。ん。の。よ。き。よ。し。
 お。え。祖。と。り。や

